

2025年度

鹿児島大学大学院保健学研究科
保健学専攻博士（前期）課程

学生募集要項

[一般選抜]

[社会人特別選抜]

[外国人留学生特別選抜]

鹿児島大学大学院保健学研究科

「UCL 稲盛留学生制度」について

～英国の名門校ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）に
1年間留学し、学ぶことができる制度です～

鹿児島大学は、幕末時代の薩摩藩の精神を継承し、「進取の精神・気風」を備えた人材を輩出する理念の基に、鹿児島大学21世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業「UCL 稲盛留学生」制度を設立しています。

この「UCL 稲盛留学生」制度は、鹿児島大学に在籍しながら単位取得のためにUCLの授業を受講し、通常のUCLの正規学生と同じ扱いを受ける学生として各分野における卓越した学問を修得することを目的として1年間UCLへ留学します。

本学が、この「UCL 稲盛留学生」に求めるものは、「大きな将来性」であり、本学ならびに我が国を代表する教育者や研究者になること、稲盛和夫鹿児島大学名誉博士のような我が国をリードする世界的企業人として活躍できる人物を目指すところにあります。

【事業概要】

年間1～2名をUCLへの留学候補者として選抜し、UCLからの入学許可を得た者（「UCL 稲盛留学生」）に鹿児島大学稲盛和夫基金を財源として経済的に支援します。

1. 対象者 本学大学院の修士課程、博士課程に在学する者又は入学を予定する者。
2. 支援予定人数 1～2名
3. 応募要件 GPA、英語能力について求める水準を満たしていること等
4. 支援内容 ロンドンへの往復渡航費、ロンドンでの1年間の滞在費、UCLの授業料、その他留学のために必要と認められる経費
5. 募集時期 派遣前年の9月～11月頃を予定
6. 派遣時期 毎年9月頃
7. 単位互換 UCLで履修した授業科目について修得した単位は、各研究科の修了単位数に互換できる場合があります。単位互換については、所属する研究科へお問い合わせください。
8. 制度に関する問合せ先 鹿児島大学学生部国際事業課留学生係

TEL 099-285-3124（平日：8:30-17:15）

E-mail ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人鹿児島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生や規制対象となる居住者の受入れに際し厳格な審査を行っていますので、出願を希望する場合は、出願前できるだけ早い段階で問合せ先へ相談してください。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。

なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理に関するWebサイトを参照してください。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/research/anzenhoshou.html>

保健学研究科保健学専攻博士前期課程

〔教育目的〕

保健学に関する優れた専門知識・技術をもつ高度専門職業人並びに卓越した教育や研究のできる人材及び離島・へき地や国際的な保健医療活動の推進・充実に貢献できる人材を育成し、併せて教育研究の成果及び情報を広く提供し、社会に貢献することを目的とする。

(1) 教育目標

- ア) 優れた専門知識・技術をもつ高度専門職業人の育成
- イ) 学生の能力開発に効果的な教育や独自の研究ができる人材の育成
- ウ) 離島・へき地や地域の保健医療活動の充実、向上に貢献できる人材の育成
- エ) 国際保健医療活動を推進できる人材の育成

(2) 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

①求める人材像

- ア) 豊かな人間性と高い倫理観を獲得し、保健学を発展させることに意欲のある人
- イ) 保健学における高度専門職業人としての優れた知識や技術・態度の獲得を目指す人
- ウ) 保健学における卓越した研究や教育を目指す人
- エ) 離島・へき地や地域の保健医療の質の向上への貢献を目指す人
- オ) 国際保健医療活動の推進を目指す人

②入学前に身につけておいて欲しいこと

- ア) 保健学とその周辺分野に関する幅広い問題意識
- イ) 保健学に関する基礎的知識と技術

③入学者選抜の基本方針

保健学に関する現象を、深い関心と見識をもって科学的に探求し、それらの成果を人々の健康増進や回復、QOLの向上に役立てられるように公表し、実践に活用していく基礎的能力を有するかどうかを専門科目、外国語科目（英語）、小論文、面接等によって評価します。

〔出願に係る個人情報保護について〕

個人情報保護に関しては、以下のとおり取り扱いますのでご了承願います。

1. 利用目的

出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報は、次に掲げる目的に利用いたします。

- (1) 入学者選抜、合格発表、入学手続きなど、入学までの一連の業務を行うため。
- (2) 入学後の学籍関係（学生証交付、各種学籍処理、証明書発行等）、修学関係（履修登録、学業成績等）及びそれらの連絡通知を行うため。
- (3) その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務を行うため。

2. 第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることにいたします。

- (1) 本学入学者について、名簿作成及び連絡通知等に使用するために本学の関連組織である学友会・同窓会等からの名前、所属に限り照合に応じる場合。
- (2) 法令に基づき公的機関等の要求に応じる場合や出願者本人及び第三者の生命・身体・財産の権利利益を保護するために必要な場合は、本人の同意を取ることなく、個人情報を提供する場合があります。
- (3) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合。

入学試験に関する日程

出願資格審査受付期間	2024年5月13日(月)～2024年5月17日(金)
願書受付期間	2024年6月17日(月)～2024年7月1日(月)
入学試験日	2024年8月23日(金)
合格発表日	2024年9月18日(水)
入学手続期間	2024年9月26日(木)～2024年9月30日(月)

1. 2次募集は、原則として合格者が募集人員に満たない場合に実施します。
2次募集実施の有無につきましては、2024年9月下旬に本研究科ホームページ(<https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~g-health/>)に掲載します。

目 次

学生募集要項

1	募集人員	1
2	出願資格	1
3	出願方法	2
	(1) 一般選抜	
	(2) 社会人特別選抜	
	(3) 外国人留学生特別選抜	
4	出願書類等	2
5	出願資格審査	5
6	出願手続	6
7	選抜方法等	7
8	出願及び受験にあたっての注意事項	8
9	合格者発表	9
10	入学手続	9
11	博士前期課程の修了要件及び学位の授与	9
12	大学院設置基準第 14 条による教育特例	10
13	長期履修学生制度	10
14	障害を有する入学志願者の事前相談	10
15	入試情報の開示	11
	看護学領域及び保健学領域の概要	12
	1 目的	
	2 各領域の概要	
	3 教員の研究課題等	

試験場及び交通案内図

出願書類様式

1 募集人員

専攻	入学定員	領域	募集人員
保健学	22人	看護学	14人
		保健学	8人

※看護学領域は、島嶼・地域看護学コース(2人)、助産学コース(7人)を含みます。

※助産学コースは7人を募集人員として、コース内での選抜を行います。

※募集人員には、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の若干人を含みます。

※各領域における合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員は他領域に含める場合があります。

※2次募集は、原則として1次募集の合格者が募集人員に満たない場合に実施します。

※出願に際しては、指導を希望する教員にあらかじめご連絡のうえ出願してください。(P14～研究課題等を参照)

2 出願資格

- ①大学を卒業した者又は2025年3月31日までに卒業見込みの者
- ②独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は2025年3月31日までに学位を授与される見込みの者
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2025年3月31日までに修了見込みの者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は2025年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は2025年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2025年3月31日までに修了見込みの者
- ⑧文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
- ⑨2025年3月31日現在で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
- ⑩個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、22歳に達した者又は2025年3月31日までに22歳に達するもの
- ⑪外国人留学生特別選抜においては、日本留学試験又は日本語能力試験を受験し、指定するスコアを取得している者

(注) 出願資格が上記⑨、⑩により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を行いますので、あらかじめ学務課保健学教務係まで照会してください。(5ページ参照)

※助産学コースについて

上記①～⑪の出願資格のいずれかに該当する者で、看護師免許(取得見込を含む)を有する女子。
なお、看護師国家試験に不合格の場合は、合格発表日に提出先(6ページ)に連絡すること。

3 出願方法

入学者の選抜は、前ページ「2 出願資格」のいずれかに該当する者について、一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜により行いますので、下記の選抜方法を選択のうえ出願してください。

(1) 一般選抜

一般選抜に出願できる者は、(2)、(3)以外の者
(注) 助産学コース出願者は一般選抜のみとなります。

(2) 社会人特別選抜

社会人特別選抜に出願できる者は、入学時において医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において専門的な実務経験（3年以上の経験が望ましい。）を有する者

(3) 外国人留学生特別選抜

外国人留学生特別選抜に出願できる者は、外国の国籍を有し、日本における在留資格が本学の入学に支障がない者

4 出願書類等

(1) 出願書類入手方法

出願書類の一部は本学大学院保健学研究科ホームページ（以下、保健学研究科HP）よりダウンロードし、印刷する必要があります。

(2) 出願書類

一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜に係る出願書類は、下記の「出願書類①」のとおりとします。

社会人特別選抜は、「出願書類①」に併せ「出願書類②」を提出し、外国人留学生特別選抜は、「出願書類①」に併せ「出願書類③」を提出してください。

なお、出願資格審査を受けた者は、出願資格審査時に本学に提出済みの書類を再度提出する必要はありません。

出願書類① （※印は保健学研究科HPよりダウンロードし、印刷すること）

出 願 書 類 等		摘 要
①	入 学 志 願 票 ※	本要項所定の用紙に記入すること。
②	受 験 票 ・ 写 真 票 ※	写真（縦4cm×横3cm、正面、上半身、無帽、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの）を各1枚貼付
③	成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの ※ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者は、学位申請時に提出した短期大学、専攻科及び他大学で修得した単位修得証明書を併せて提出すること。また、大学に編入学した者にとっては、編入学前の短大・専門学校等の成績証明書を併せて提出すること。
④	卒 業（見 込）証 明 書	出身大学（学部）長が作成したもの
⑤	学位授与証明書又は 学位申請受理証明書	「2 出願資格②」に該当する者で大学評価・学位授与機構が証明したもの

⑥	入学検定料 ※	<p>30,000 円（国費外国人留学生は除く）（外国政府派遣留学生等は、留学生から申請があった場合、入学検定料を免除する場合もある。）次頁の「鹿児島大学 検定料払込方法」を参照の上、検定料 30,000 円（事務手数料は支払人負担）を支払い後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、「検定料納付確認票※」に貼付して提出すること。</p> <p>また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。</p> <p>①検定料を払込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）</p> <p>②誤って検定料を二重に払込んだ場合</p>
⑦	返信用封筒（受験票送付用）	封筒（長形 3 号）に、志願者の住所、氏名、郵便番号を明記のうえ、切手（354 円分）を貼付すること。
⑧	宛名票（合格通知用） ※	本要項所定の用紙に、住所、氏名、郵便番号を明記すること。
⑨	研究志望書 ※	本要項所定の用紙に、志望する研究テーマ、目的、動機、内容についてまとめたもの
⑩	住民票の写し又はパスポートの写し	日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を、その他の者は、パスポートの写しを提出すること。（外国人留学生特別選抜志願者のみ）
⑪	出願資格審査結果の通知書	「5 出願資格審査」で申請した者は、審査結果通知書の写しを添付すること。
⑫	看護師免許証（写）又は登録済証明書（写）	<p>助産学コース希望者は、出願時に看護師免許を有する者は看護師免許証（写）を提出すること。</p> <p>看護師免許取得見込の者は国家試験終了後、速やかに厚生労働省発行の登録済証明書（写）を提出してください。</p>

出願書類② （※印は保健学研究科HPよりダウンロードし、印刷すること）

⑬	就学承諾書 ※	本要項所定の用紙により、所属長が発行したもの（社会人特別選抜で、現職のまま学業を行う者のみ）
⑭	在職期間証明書	在職時の職名、勤務時間を所属機関の長が証明する書類で 3 年以上の実務経験を証明したもの（様式任意）（2025 年 3 月末までに見込まれる者を含む。）
⑮	業績調書（社会経験を含む） ※	本要項所定の用紙に記入すること。

出願書類③ （外国人留学生特別選抜志願者のみ提出）

⑯	日本留学試験に関する証明書又は日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書（原本）（2022 年以降に受験した 1 回の成績に限る）	出願に必要なスコア	
		日本留学試験	日本語 220 点以上（記述を除く）かつ日本語記述 30 点以上
		日本語能力試験	N 1 又は N 2

鹿児島大学 検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで24時間いつでも払い込みが可能です。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。



2 お支払い

各店舗へ

そのまま
カード決済手続へ

コンビニエンスストアでお支払い

●検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
●店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

クレジットカードでお支払い

7-Eleven

【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

LAWSON MINI STOP

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Loppiへ

各種サービスメニュー

各種代金・インターネット受付 (紫のボタン)

各種代金お支払い

マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

FamilyMart

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Famiポートへ

代金支払い

各種代金お支払い

番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】を入力

VISA **MasterCard**
JCB

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、支払方法で「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

全入力内容が表示されますので、正しければ「確定」を押す

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

お支払い完了です。
E-支払いサイトの申込内容照会 (URL:<https://e-shiharai.net/>) にアクセスして下記の手順に従って、「収納証明書」を印刷してください。

3 出願

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。

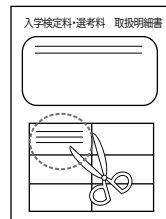


※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【クレジットカードでお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して「収納証明書」を印刷。
「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼り出願。

＜注意＞
プリンタのある環境が必要です。
スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。



※クレジットカードでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

- 携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。
- 出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は14:00まで、店頭端末機の操作は15:00までです。クレジットカードの場合、Webサイトでの申込みと同時に支払いが完了します。14:00までにお手続きしてください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限りです。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱コンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

5 出願資格審査

本要項「2 出願資格」の⑨、⑩により出願を希望する者は、下記により出願資格の認定を受けてください。

なお、書類提出にあたっては、あらかじめ志望する分野の予定指導教員に照会してください。

(1) 提出書類 (※印は保健学研究科HPよりダウンロードし、印刷すること)

A 出願資格⑨により出願しようとする者

① 入学試験出願資格認定申請書 ※	本要項所定の用紙に記入すること。
② 成績証明書	在籍する大学(学部)長が作成し厳封したもの
③ 在学(期間)証明書	在籍する大学(学部)の長が作成したもの
④ 推薦書	在籍する大学の(学部)長が作成し厳封したもの(様式任意)
⑤ 審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に本人の住所、氏名、郵便番号を明記し切手(84円分)を貼付したもの

B 出願資格⑩により出願しようとする者

① 入学試験出願資格認定申請書 ※	本要項所定の用紙に記入すること。
② 最終学校成績証明書	出身学校長等が作成し厳封したもの
③ 最終学校卒業証明書	出身学校長等が作成したもの
④ 在職期間証明書	技術的・専門的職業についての職歴を有する者で、その期間及び職務内容を明記し、所属機関の長が作成したもので3年以上の実務経験を証明したもの(様式任意)(2025年3月末までに見込まれる者を含む。)
⑤ 自己推薦書 ※	本要項所定の用紙に記入すること。
⑥ 業績調書(社会経験を含む) ※	本要項所定の用紙に記入すること。
⑦ 出身学校の規定等	卒業要件(在学期間、授業科目、単位数)の記載されたもの及び卒業に必要な授業科目の授業内容が記載されたもの(シラバス等)
⑧ 審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に本人の住所、氏名、郵便番号を明記し切手(84円分)を貼付したもの

(2) 出願資格審査書類提出期間及び審査結果の通知

事項	内容
出願資格審査書類の提出期間	2024年5月13日(月)～2024年5月17日(金)17時迄
審査書類提出方法	封筒の表に「大学院出願資格審査書類在中」と朱書きし、最終日の17時までに到着するよう持参又は書留・速達郵便により提出すること。
審査書類提出先	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1 TEL 099-275-6724 鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係
審査結果の通知	2024年6月14日(金)発送予定 上記日付で申請者宛に郵便で通知するので、出願資格を認定された者は、出願手続を行うこと。なお、成績証明書、卒業証明書、在職期間証明書及び業績調書(社会経験を含む)は、再提出する必要はない。

6 出願手続

(1) 出願期間等

事 項	内 容
願 書 受 付 期 間	2024年 6月 17日(月) ~ 2024年 7月 1日(月) 17時まで に必着
出 願 書 類 提 出 先	〒 890 - 8544 鹿 児 島 市 桜 ケ 丘 8 丁 目 35 - 1 TEL 099-275-6724 鹿 児 島 大 学 医 歯 学 総 合 研 究 科 等 学 務 課 保 健 学 教 務 係

(2) 出願書類提出方法

出願者は、出願に必要な書類等を取りそろえ、レターパックライト（370円）で出願（宛名記載方法は下記参照のこと）してください。持参する場合は、レターパックライトではなく、角2封筒に入れて出願してください。

出願を受理したときは、「受験票」及び「受験者心得」を送付します。

【レターパック宛名記載方法】

お送り先
To
〒 890 - 8544
鹿 児 島 市 桜 ケ 丘 八 丁 目 35 番 1 号
鹿 児 島 大 学 医 歯 学 総 合 研 究 科 等
学 務 課 保 健 学 教 務 係 様

お名前
Name
電話番号
Telephone Number 099 (275) 6724)

ご依頼主
From
お名前
Name
電話番号
Telephone Number
出願者本人の住所
出願者本人氏名 様
出願者本人電話番号

品名: Contents Description 品名の記載が無い場合は内容品によっては、配達が遅れる場合がございます。
入学願書在中

ご利用方法
1 宛て名書き
2 封入
3 保管用シールを貼ります
4 封筒に
5 封入
はがして差出し

ご依頼主様保管用シール
Sender To Retain
このシールを保管用シールとして、申請書と一緒に封入してください。
本学様にお預けの旨
インターネット: <http://www.zent.kagoshima-u.ac.jp/>
直営電話から: 0120-33-08-90
専用電話から: 0970-046-666

(注)「ご依頼主様保管用シール」は、発送時に必ずはがして、出願者が保管すること。

7 選抜方法等

(1) 選抜方法

① 一般選抜

専門科目（助産学コース出願者のみ）、外国語科目（英語）、小論文及び面接の結果を総合評価し、合格者を決定します。

② 社会人特別選抜

外国語科目（英語）、小論文及び面接の結果を総合評価し、合格者を決定します。

③ 外国人留学生特別選抜

外国語科目（英語）、小論文及び面接の結果を総合評価し、合格者を決定します。

(2) 学力試験日程等

試験科目等	各選抜の試験科目			試験日
	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	
専門科目	○注1			9:00～10:30
外国語科目 (英語)	○	○	○注2	11:00～12:00
小論文	○	○	○	13:00～14:00
面接	○	○	○	14:30～

注1) 専門科目は、助産学コース出願者のみ課す。

注2) 英語を母語とする志願者には日本語を課す。

※英語の試験では、英和・和英辞典及び医学専門英語辞典の持ち込み可。ただし、電子辞書は不可。

(3) 専門科目

助産学コース出願者は、母性看護学の専門科目を受験すること。

(4) 評価内容

試験科目等	配点	評価内容
専門科目	100	母性看護学に関する能力を問う。(助産学コース出願者のみ)
外国語科目(英語)	100	保健学に関する英語の文献を読解できる能力を問う。
小論文	100	保健学に関する課題について、知識、考え方等を問う。
面接	100	研究者又は専門性を有する職業人としての適性及び意欲を審査する。

(5) 合否判定

合否判定は、入学者選抜方法に関係なく、助産学コースを除く受験者を領域ごとに総合得点順に並べ、本研究科が定める合否判定基準を満たした得点上位者から順次行います。ただし、助産学コースにおいては、コース内で全受験者を総合得点順に並べ順次行います。

なお、総得点と同点の場合は、専門科目（助産学コースのみ）、外国語科目（英語）、小論文、面接の得点の順により順位付けを行います。

(6) 試験会場

鹿児島大学桜ヶ丘共通教育棟

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1

(末尾参照)

8 出願及び受験にあたっての注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合、受理しないことがあります。
- (2) 出願に際しては、あらかじめ志望する分野の予定指導教員に照会のうえ出願してください。
(14 ページ以降の教員の研究課題等を参照)。
- (3) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。ただし、連絡先に変更があった場合は、学務課保健学教務係まで届け出てください。また、一旦受理した出願書類等は返還しません。
- (4) 提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消す場合があります。
- (5) 入学を志願する者のうち、障害を有する者で受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、10 ページの「14 障害を有する入学志願者の事前相談」を参照し、出願期間前に学務課保健学教務係へ申し出てください。
- (6) 改姓等により卒業証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。
- (7) 試験室及び注意事項等は、試験日前日の 13 時までに桜ヶ丘共通教育棟玄関（末尾参照）に掲示します。ただし、棟内の立入は禁止します。
- (8) 受験者は、試験開始 20 分前までに集合してください。なお、各試験開始後 30 分以上遅刻した場合は受験できません。
- (9) 試験当日は、必ず受験票を持参し係員に提示してください。受験票を紛失・忘れた者は、試験場本部に申し出てください。

試験場内での携帯電話等の使用は禁止します。これらを試験場内に持ち込む場合は、あらかじめ電源を切ってかばん等に入れてください。

机の上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル（黒）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）、辞書（英語の試験のみ。英和・和英辞典及び医学専門英語辞典は可、電子辞書は不可）です。その他のものは、指定の場所に置いてください。

- (10) 受験票は、受付期間終了後に出願者に送付します。試験日の 10 日前までに到着しない場合は、出願書類提出先に電話等で照会してください。

なお、郵送による照会は返信用封筒（郵便番号、住所、氏名を明記のうえ 84 円切手を貼付）を同封してください。

9 合格者発表

合格発表日
2024年9月18日(水) 10時
桜ヶ丘共通教育棟玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。また、鹿児島大学大学院保健学研究科のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。 (アドレス https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~g-health/) なお、電話・メール等による可否の問い合わせには一切お応えいたしません。

10 入学手続

入学手続書類は合格通知と一緒に送付するので、下記の期日の間に必着するように郵送するか、鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係で入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期間

2024年9月26日(木)～2024年9月30日(月)

(受付時間：9時から17時まで、時間を厳守願います。)

入学手続期間内に入学の手続を行わなかった者は、入学を辞退したものと取り扱いますので留意願います。

(2) 納付金(2024年度予定)

① 入学料 282,000円

② 授業料 267,900円(年額535,800円)

※料金改定が行われた場合、改定時から新料金が適用されます。

(注) ア 入学手続完了者が入学を辞退した場合、既納の入学料は返還できません。

イ 国費外国人留学生は入学料、授業料ともに不要です。外国政府派遣留学生等は、留学生から申請があった場合、入学料を免除します。

ウ 入学料、授業料については、徴収猶予及び免除の制度があります。

詳細は、鹿児島大学学生部学生生活課経済支援係(電話099-285-7329)まで問い合わせてください。

なお、入学手続後に入学を辞退する場合、入学料徴収猶予又は入学料免除の申請は無効となり、入学料を納入していただくことになります。

(3) 保険

実験実習・課外活動中には、万全の注意を払っていても不幸にして不慮の事故により負傷・後遺障害といった災害を被ることがあります。このような正課中、学校行事中及び課外活動中に被った災害・傷害(課外活動中のケガ、実験中の火傷等)に対する補償制度として、「学生教育研究災害傷害保険」があります。この保険は通学中中等担保特約付きとなっていて、通学中の事故についても補償されます。

また、助産学コースでは、助産学実習等を課していることから、臨床実習中の感染事故、針刺し事故、第三者賠償責任にも対応する日本コープ共済生活協同組合連合会または公益財団法人日本国際教育支援協会等の賠償責任事故を補償する保険に学生本人負担により加入しています。(他の医療関連実習等の賠償責任事故を補償する保険への加入でも結構です。)

11 博士前期課程の修了要件及び学位の授与

(1) 修了要件・履修方法

本課程に2年以上在学し、所定の単位を30単位以上(助産学コースにあっては、61単位以上)を修得し、必要な研究指導を受けた上、本課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格することとしています。ただし、優れた業績を

上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

(2) 取得できる学位

課程・修業年限	専攻	領域	取得できる学位
博士（前期）課程 2年	保健学	看護学	修士（看護学）
		保健学	修士（保健学）

(3) 精神看護専門看護師認定審査受験資格について（予定）

令和7年度より精神看護専門看護師教育課程を開設するために、日本看護系大学協議会へ認定を申請する予定です。日本看護協会の認定審査の受験資格は、「日本国の看護師免許を有すること。看護師免許を取得後、通算5年以上実務研修をしていること。そのうち通算3年以上は専門看護分野の実務研修をしていること。所定の教育を修了していること。」となっています。（詳細については、授業担当責任者：山下（099-275-6757）までお問い合わせください。）

12 大学院設置基準第14条による教育特例

社会人入学者の学修を容易にするために、大学院設置基準第14条による教育方法の特例に基づく昼夜開講制による教育を実施しています。

昼夜開講制の授業時間帯は、昼間（9:00～17:50、5時限まで）、夜間（18:00～21:10、6・7時限）です。また、必要に応じて土曜日、日曜日及び祝日等に集中講義や研究指導を行うことがあります。なお、一般選抜入学者についても夜間等の授業時間帯の履修が必要な学生には、履修を認めています。

ただし、助産学コースでのコース科目（31単位）は、昼の開講となります。

13 長期履修学生制度

保健学研究科には、長期履修学生制度があります。これは職業を有している等の事情により、標準修業年限2年で修了することが困難な大学院生が、標準年限を超えて一定の期間（3年または4年）にわたり、計画的に履修し課程を修了することをあらかじめ申請し、その計画的な履修を認定する制度です。

なお、長期履修学生の授業料年額は、一般学生が標準修業年限在学した場合の授業料総額を、長期履修学生として許可された在学年限で除した金額となります。

合格通知の際に必要な書類を送付しますので、予定指導教員と相談のうえ期日までに学務課保健学教務係へ提出してください。

14 障害を有する入学志願者の事前相談

本研究科に入学を志願する者で、障害（次表参照）がある場合は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、あらかじめ下記の照会先へ相談してください。

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね0.3未満又は視力以外の視機能障害が高度なものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの

聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

(注) 学校教育法施行令第 22 条の 3 の規定に準拠した。

(1) 時期

相談の内容によっては、本研究科の入学者選抜試験までに対応できず、特別な配慮が講じられないこともありますので、なるべく出願期間の数日前までに相談してください。

(2) 方法

電話での相談又は本研究科での相談いずれでもかまいませんが、下記事項を記載した書類(様式任意)を提出していただく場合があります。

- ① 志願する研究科の領域及び分野名、氏名、生年月日
- ② 障害の種類、程度(医師の診断書が必要な場合があります。)
- ③ 受験の際、特別な配慮を希望する事項及び内容
- ④ 大学等在学中にとられていた特別な配慮
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ 本人の現住所及び連絡先電話番号

(3) 照会先

〒 890-8544

鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係

TEL 099-275-6724

FAX 099-275-5136

15 入試情報の開示

入試成績に関する個人情報は次により学務課で開示します。(受験票を持参してください。)

- ① 受験者本人からの請求に基づき、試験科目の得点、面接の評価、合否の別を書面により開示します。
- ② 入試成績の開示は、当該年度の入試に限り開示し開示期間は合格発表後 2 か月間とします。
- ③ 遠隔地等の理由により、来学が困難な場合は学務課に問い合わせてください。

鹿児島大学大学院保健学研究科保健学専攻博士前期課程

看護学領域及び保健学領域の概要

1. 目的

1. 看護学領域

- (1) 看護職者として高度の専門知識と問題解決能力を有する実践指導者の育成
- (2) 看護学の科学的進歩と多様化に柔軟に対応できる創造的教育・研究者の育成
- (3) 保健・医療・福祉分野の施設において、幅広い包括的立場に立脚した管理運営のできる実践指導者の育成
- (4) 保健医療福祉の国際的分野で活躍貢献できる専門看護職者の育成
- (5) 離島の保健・医療・福祉に積極的に貢献できる実践指導者の育成

2. 保健学領域

- (1) 理学療法・作業療法学における教育・研究者としての人材の育成並びに教育・研究における指導力を有する人材の育成
- (2) 高度な専門的知識と技術を有し、実践能力をもつ専門職の育成並びに社会人の再教育
- (3) 離島を含む地域の保健医療に貢献できる技術開発のできる人材の育成
- (4) 高齢者介護システムの質的向上を図る人材の育成
- (5) 国際保健医療の分野で活躍できる人材の育成

2. 各領域の概要

1. 看護学領域

看護学領域は、実践的な高度専門看護職者と将来、看護専門分野の教育者・研究者となる人材の育成を行う。これからの看護学においては、専門的立場から保健・医療・福祉に関する多様化したニーズを捉え、保健医療福祉システムの変革や複雑かつグローバル化する健康問題に柔軟に対応する能力が要求される。基礎看護学、地域看護学、臨床看護学の看護学と島嶼・地域看護学、助産学のコースを開講し、社会のニーズに対応した人材の育成を目指す。

(1) 看護学

基礎看護学の分野では、適切な看護を提供するための看護科学の基礎となる理論と技術について研究・教育し、さらに看護病態学的課題についても教育・研究を行う。地域看護学の分野では、ヘルスケアの需要者、供給者にとって望ましいシステムを構築するために、臨床/技術的レベル、制度/政策的レベルでの問題解決能力を身につけることを目標とする。臨床看護学分野では様々な場で生活する人々の健康に関連する課題を、その場の特性や対象の心身の成長・発達特性を踏まえて総合的かつ実践的に把握し、人々がより健康的でQOLの高い生活を実現できるように看護する人材を育成する。

(2) 島嶼・地域看護学コースについて

在宅看護の実践者としての高度な専門的知識・技能を有し、さらには、教育的および研究的な能力を有する在宅看護の専門看護職者を育成します。具体的には、「患者が安心して地域で暮らせるように病院から地域に繋ぐ能力」、「在宅での生活・人生を最期まで支えることができる能力」を講義・演習、離島・へき地をフィールドとした実習を通して養成します。また、退院支援・在宅看護に係る課題について研究を行い、自律的に問題を解決できる能力を養成します。

(3) 助産学コースについて

助産学コースでは、コースを修了すると、助産学国家試験受験資格が取得できる。また、女性看護学特論等の履修により、受胎調節実施指導員申請に必要な認定講習の受講証明が取得できます。助産学コース科目で妊娠期の健康診断を実施し、分娩期・産褥期につなげる実践能力を養い、前期博士課程科目では、日本周産期・新生児医学会・新生児蘇生法専門コース認定の資格取得も可能であり、また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する知識を深め、性教育等を実践することにより、より高い実践能力を養います。離島実習では、地域の周産期医療の現状を知り、母子保健をマネジメントができるとともに、実習などの実践を通して抽出した課題について研究を行い、問題解決能力を持つ人材の養成をします。

2. 保健学領域

保健学領域は、理学療法学及び作業療法学を教育・研究内容とする。

近年、理学療法・作業療法はますます重要視され、高度技術と専門知識が要求されている。基盤的並びに先端的教育・研究を推進し、応用力の高い基礎能力や技術を修得し、解決していく能力および独創的な研究を行える専門的知識と技術を持った教育・研究者を養成する。また、現状の保健医療の改善を図る実践能力を持ち、地域の保健医療に貢献できる高度専門職を育成し、新しい医療技術や医療機器を開発できる卓越した専門職の育成、実践の場でリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

保健学領域は、理学療法学および作業療法学からなる。

(1) 理学療法学

リハビリテーションの対象となる運動器系、神経系、呼吸・循環器系における種々の疾患の病態・発生機序の解明および治療を目的とし、生理学的、病理学的および神経学的な教育・研究の指導を行う。同時にこれら疾患に起因する機能障害の理解を深め、理学療法学の知識と技術の確立に寄与するような指導を行う。また、理学療法の臨床の場で研究的手法を用い、臨床能力を向上させることが可能となることを目標とし、運動器系の障害に対する理学療法の教育・研究指導を行う。このように理学療法学に関する基盤的並びに臨床的な教育・研究を通して、疾患、障害および治療法の実践的教育・研究に対応できる高度な技術と科学的知識をもった理学療学分野における研究者・指導者の育成を行う。

(2) 作業療法学

脳損傷患者の身体および高次脳機能障害においては、種々の動作および認知障害の応用動作能力または社会的適応能力の回復を図るために、基盤的・先端的な作業療法的および神経心理学的分析とアプローチ方法を教育し、これらの脳・神経や筋におけるメカニズムの解明と新たな実践方法の開発を目的とする研究を指導する。

また、精神・発達障害に対する教育では、医療機関や地域社会で行われる精神・発達障害の作業療法において中心的な役割を果たす高度専門職の育成を図り、研究は、医療機関にとどまらず地域社会をも、その実践基盤として包含しつつある作業療法の新たな理論の構築と実践技術の開発を目的とする。

3. 教員の研究課題等

(2024年4月1日現在)

看護学領域

※連絡先 市外局番：099－， E-mail address ー@以下に health.nop.kagoshima-u.ac.jp

職名	氏名 (連絡先)	研究課題	職名	氏名 (連絡先)	研究課題
教授	井上尚美 TEL・FAX 275-6765 E-mail midwife@	1. 助産師教育プログラムに関する研究 2. 地域志向型学生育成に関する研究 3. 離島の保健指導に関する研究	教授	八代利香 TEL・FAX 275-6755 E-mail yatsu-r@	1. 看護倫理に関する研究 2. 離島におけるヘルスケアシステムに関する研究 3. 看護の人的資源に関する国際的研究 4. 国際看護学に関する研究
教授	沖利通 TEL・FAX 275-6752 E-mail oki-t@m2.kufm. kagoshima-u.ac.jp	1. 不妊・内分泌疾患の現状と問題点に関する研究 2. 漢方療法の臨床効果と技術の習得 3. 婦人科領域における内視鏡検査や治療の問題点	教授	山下亜矢子 TEL・FAX 275-6757 E-mail aya-yama@	1. 薬物・アルコール使用障害を有する人のリハビリに関する研究 2. 司法精神看護に関する研究 3. 看護学教育に関する研究 4. 精神科医療における行動制限最小化に関する研究
教授	佐々木八千代 TEL・FAX 275-6751 E-mail ysasaki@	1. 地域在住高齢者の健康と生活に関する研究 2. 入院・施設入所高齢者への生活環境支援に関する研究	教授	選考中	1. 母性看護学・助産学領域に関連する研究
教授	西尾育子 TEL・FAX 275-6756 E-mail ikuko@	1. 糖尿病看護に関する研究 2. がん看護に関する研究 3. 急性期 (ICU) 看護に関する研究 4. 看護教育に関する研究	准教授	兒玉慎平 TEL・FAX 275-6794 E-mail kodama@	1. 地域におけるマンパワーの有効性についての研究 2. 地域における医療情報の有効利用についての研究 3. 医療安全管理における組織文化の役割に関する研究
教授	根路銘安仁 TEL 275-6597 FAX 275-6449 E-mail nerome@	1. HTLV-1 母子感染予防対策 2. 小児死亡症例登録検証制度 3. 地域における母子保健体制	准教授	清水佐智子 TEL・FAX 275-6769 E-mail shimizu@	1. 看護学生・看護師への緩和ケア教育 2. 離島へき地における看護師の疼痛緩和ケアの質の向上 3. Web における緩和ケア教育プログラム開発
教授	松成裕子 TEL・FAX 275-6754 E-mail matsuy@	1. 放射線看護に関する研究 2. 人材育成・キャリア開発に関する研究 3. 災害時のシステム管理に関する研究 4. 看護技術の実証的研究 5. 健康管理行動に関わる調査研究	准教授	古島大資 TEL・FAX 275-6793 E-mail dfuru@	1. EBMと疫学・生物統計学に基づく健康な地域づくり推進に関する研究 2. 食品の機能性・安全性に関する研究 3. 緑茶成分の機能性に関する臨床研究 4. 公衆衛生看護学に関連する研究
教授	宮田昌明 TEL・FAX 275-6742 E-mail miyatam@m3.kufm. kagoshima-u.ac.jp	1. 健康寿命延伸を目指したヘルスプロモーション科学研究 2. 循環器疾患の診断・治療・看護に関する研究 3. 心不全の緩和や終末期医療に関する研究 4. 多職種連携に関する研究	准教授	若松美貴代 TEL・FAX 275-6790 E-mail mikiwaka@	1. 周産期のメンタルヘルスに関する研究 2. 乳幼児の育児環境に関する研究
教授	選考中	1. 公衆衛生看護学に関連する研究			

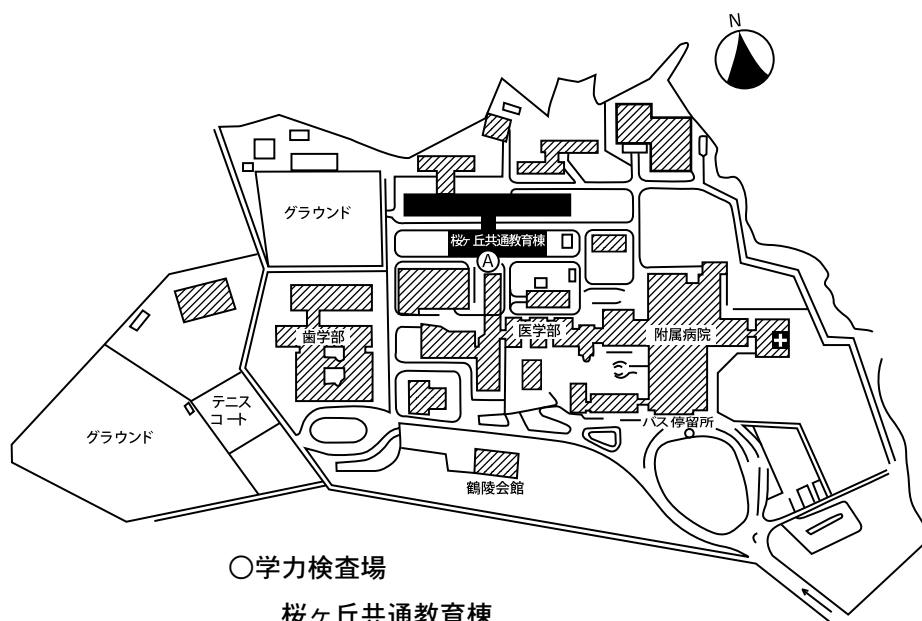
保健学領域

※連絡先 市外局番：099－， E-mail address ー@以下に health.nop.kagoshima-u.ac.jp

職名	氏名 (連絡先)	研究課題	職名	氏名 (連絡先)	研究課題
教授	赤崎 安昭 TEL・FAX 275-6781 E-mail akaaki@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp	1. 精神障害者のリハビリテーションに関する研究 2. 臨床精神病理学的研究 3. 司法精神医学に関する研究	教授	永野 聡 TEL 275-6771 FAX 275-6804 E-mail naga@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp	1. 骨軟部腫瘍に対する新規治療法の研究 2. 関節の変性疾患に関する研究 3. 運動器の再生に関する研究 4. サルコペニアに対する分子生物学的研究
教授	大重 匡 TEL 275-6773 FAX 275-6804 E-mail ohshige@	1. 呼吸器疾患の理学療法に関する研究 2. 循環器疾患の理学療法に関する研究 3. 温熱療法に関する研究 4. 動作分析に関する研究 5. 地域リハビリテーションに関する研究 6. チーム医療に関する研究	教授	牧迫 飛雄馬 TEL 275-6775 FAX 275-6804 E-mail makizako@	1. フレイルに関する基礎および疫学的な研究 2. 高齢者のリハビリテーションに関する研究 3. 老年学および老年社会科学に関する実証的研究
教授	岡本 裕嗣 TEL 275-6770 FAX 275-6804 E-mail kamoto@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp	1. 筋疾患、遺伝性末梢神経障害の分子メカニズム 2. ミトコンドリア病および老化におけるミトコンドリア機能 3. 神経難病の病態マーカーの探索 4. 神経難病のリハビリテーション研究	教授	選考中	1. 精神障害者に対する作業療法に関する研究 2. 精神障害者のリハビリテーションに関する研究
教授	窪田 正大 TEL・FAX 275-6807 E-mail kubota@	1. 脳血管障害に対する高次脳機能障害リハビリテーションに関する研究 2. 脳血管障害に対する高次脳機能障害に関する研究	准教授	大渡 昭彦 TEL 275-6772 FAX 275-6804 E-mail oowatash@	1. 神経伝達物質を指標とした運動療法の効果とその機序に関する研究 2. 物理療法に関する研究 3. 医療経済学に関する研究
教授	榑間 春利 TEL 275-6778 FAX 275-6804 E-mail sakaki@	1. 病態モデル動物を使用した理学療法の効果とメカニズムに関する研究 2. 整形外科術後の運動機能と理学療法に関する研究 3. 中枢神経障害者の運動機能とリハビリテーションに関する研究	准教授	木山 良二 TEL 275-6774 E-mail kiyama@	1. 動作の運動力学的分析に関する研究 2. ウェアラブルセンサーを用いた歩行分析に関する研究 3. 神経系疾患の理学療法に関する研究
教授	田平 隆行 TEL・FAX 275-6780 E-mail tabitaka@	1. 認知症及び神経リハビリテーションに関する研究 2. 高齢者の認知バイアスに関する研究			

鹿児島大学大学院保健学研究科保健学専攻入学試験場

鹿児島大学桜ヶ丘地区



○学力検査場

桜ヶ丘共通教育棟

Ⓐ 掲示板 (検査場の案内と注意事項)

桜ヶ丘共通教育棟 1 階

本学への交通機関

鹿児島大学ホームページ

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html>

問い合わせ先

鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係

〒 890-8544 鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

TEL 099-275-6724

FAX 099-275-5136

URL <https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~g-health/>

E-mail isgghk@kuas.kagoshima-u.ac.jp